

# 閉会中の

農林  
水産  
委員会

茨城県農業総合センター、茨城旭村農業協同組合、肉用牛振興研修農場

## 光センサーによるメロンの選果状況などを調査

茨城県農業総合センターを訪れ、メロンの新品種で果実が大きく食味が優れた「ひたち交3号」などの育成や、甘藷の新品種で品質や食味が優れた「べにまさり」の形状や食味を安定的に生産する技術の確立や需要の拡大に向けた取り組みについて説明を受けました。その後、メロンの試験ほ場において、品質が高く、病気に強いメロンの生産を目指した取り組み状況を視察しました。

次に、茨城旭村農業協同組合を訪れ、メロンやトマトを出荷する際に光センサーを用いて糖度や熟度、形状などから選果し、品質の安定化を図るとともに、個体ラベルから栽培暦、防除暦などを検索できる生産履歴情報開示のシステムを確立した「青果物管理センター」について説明を受け、稼働状況を視察しました。

最後に、茨城県畜産農業協同組合連合会が運営する「常陸牛」刻印率約80%を誇る肉用牛振興研修農場を訪れ、消費者に品質の良い牛肉を提供するための肥育牛を管理する技術や配合飼料の開発などについて説明を受けました。その後、牛舎で肥育牛の成長時期に合った生産管理状況を視察しました。

※「肥育」とは、繁殖農家から市場に出された生後約9か月の子牛を買ってから出荷するまでの約19～21か月の期間の飼育をいいます。



青果物管理センターでメロンの選果状況を視察

一般県道水戸枝川線寿橋、主要地方道筑西つくば線、都市計画道路辺田本町線ほか

土木  
委員会

## バイパス計画区間の進捗状況などを調査



筑西つくば線のバイパス整備状況を視察

まず、水戸土木事務所において、一般国道245号那珂湊拡幅事業や主要地方道土浦笠間線道路改良事業などの説明を受け、その後、一般県道水戸枝川線(寿橋)、主要地方道大洗友部線(網掛バイパス)などの進捗状況を確認しました。

次に、筑西土木事務所において、まず、北関東自動車道(仮)岩瀬ICを視察し、主要地方道筑西三和線(仮称鬼怒川新橋)整備事業や一級河川桜川改修事業などの説明を受け、その後、早期のバイパス実現が望まれている主要地方道筑西つくば線の進捗状況を確認しました。そして、境土木事務所において、一般国道354号岩井バイパス整備事業や飯沼川(下流)改修事業などの説明を受けた後、都市計画道路辺田本町線の街路改良事業の整備状況を視察しました。

最後に、常総土木事務所において、一般国道294号の道路橋梁改築事業や一般県道土浦坂東線(中妻バイパス)整備事業などの説明を受けた後、老朽化した石下橋の架け替え工事を進めている都市計画道路石下駅中沼線の進捗状況を確認しました。

委員からは、整備区間が短いなど、整備することにより早期の効果が期待できる箇所については、優先的に整備していくべきなどの意見がありました。

文教  
治安  
委員会

筑西警察署玉戸交番、筑西市立下館中学校、笠間市立箱田小学校

## 「君を守り隊」の活動状況などを調査

はじめに、平成18年7月に、筑西警察署管内の3つの駐在所を統合して新設された筑西警察署玉戸交番を訪れ、警察署管内の犯罪・交通事故の発生状況、交番再編の経緯や、日頃の活動状況などについて説明を受け、委員からは、交番の勤務体制や管轄区域の状況、さらには、女性交番所長として苦勞する点などについて質疑がありました。

次に訪れた筑西市立下館中学校では、いじめ問題に対応するため平成8年から生徒会が中心となり、「いじめをしない、させない、許さない、そして君を守りたい」のスローガンのもと、「君を守り隊」を発足させており、生徒会が日頃取り組む各種活動状況などの説明を受けました。委員からは、具体的な事例や生徒と先生の関わり方などについて質疑があり、このすばらしい取り組みを他の学校にも広げてもらいたいという意見がありました。

最後に、笠間市立箱田小学校を訪れ、授業のサポートや校外活動の支援、登下校の安全確保など様々な分野において、学校ボランティアの協力を得て、学校、家庭、地域が一体となって取り組む「地域で支える学校づくり」の活動状況の説明を受けました。その後、算数・国語の苦手な部分を補充し、個々の学力向上につなげる「パワーアップタイム」における学習支援ボランティアの指導の様子、安全ボランティアによる下校時の安全見回りの様子を視察しました。



筑西市立下館中学校を視察



笠間市立箱田小学校において下校の様子を視察